

<b>Teacher(s)</b>	原口・伏見	<b>Subject group and discipline</b>	個人と社会 (歴史総合)	<b>Program</b>	MYP
<b>Unit title</b>	グローバル化と私たち	<b>MOIS Year</b>	4	<b>Unit duration (terms)</b>	9 Terms

**INQUIRY: Establishing the purpose of the inquiry**

<b>Learner Profile ・ 学習者像</b>		
知識のある人 私たちは、概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探究します。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組みます。		
<b>Key concept ・ 重要概念</b>	<b>Related concept(s) ・ 関連概念</b>	<b>Global context ・ グローバルな文脈</b>
グローバルな相互作用	因果関係/重要性	公平性と発展
<b>Statement of inquiry ・ 探究テーマ</b>		
歴史的な流れの中でグローバル化は進展し、それらは人々の生活や社会の在り方に影響を及ぼしてきた。		
<b>ROK ・ TOK Connections</b>	<b>Knowledge Questions ・ 知識に関する問い</b>	
歴史的な見方・考え方を働かせるとき、その時用いる視点はどのような知識がもとになっているのか	歴史学者が自らの文化的文脈に影響されるのは避けられないのか	
<b>Inquiry questions ・ 探究の問い (代表的なものを記載)</b>		
<p><b><u>Factual ・ 事実的問い:</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「グローバル化」の具体的な歴史事象は何か</li> <li>・ 冷戦はどのようにして表面化したのか</li> <li>・ アジア・アフリカ地域の冷戦によって受けた影響は何か</li> </ul> <p><b><u>Conceptual ・ 概念的問い:</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「グローバル化」とは何か</li> <li>・ 冷戦による二極化とはどのようなものか</li> </ul>		

<p>・世界の地域統合はどのような歴史的な意義があるか</p> <p><b>Debatable 議論的問い:</b></p> <p>・「グローバル化」は私たちに良い影響をもたらしたのか悪い影響をもたらしたのか</p> <p>・公平性を保ちながら共生することは可能なのか</p>		
Objectives ・ 目標	Summative assessment ・ 総括評価課題	
<p><b>【A 知識と理解】</b></p> <p>A-i：文脈に合った広範囲の用語を使う。</p> <p>A-ii：高度な記述や説明、または事例を通じて、Unit3の内容と概念についての理解を示す。</p> <p><b>【D 批判的思考】</b></p> <p>D-i：概念、問題点、モデル、視覚表現、理論について議論する。</p> <p>D-ii：情報を統合して、有効かつ論拠のある主張を行う。</p> <p>D-iv：さまざまなものの見方とそこに含まれる意味を解釈する。</p>	<p><b>GRASPS Statement</b></p> <p>歴史総合を学ぶ中等教育学校4年生として、単元テストを解答し、20世紀後半の歴史やグローバル化の進展に関する知識・理解を示す。また、あなたの考える「グローバル化」とは何かを考察し表現する。</p> <p><b>Goal・目的</b></p> <p>20世紀後半の歴史やグローバル化の進展に関するについての知識や理解を示す。「グローバル化」についての自分自身の考えを表現する。</p> <p><b>Role・役割</b></p> <p>中等教育学校4年</p> <p><b>Audience・相手</b></p> <p>他のクラスメイト（中等教育学校4年）</p> <p><b>Situation・状況</b></p> <p>目標に対する自らの達成度を把握するために、総括的評価課題に取り組む。</p> <p><b>Product/performance・成果物</b></p> <p>・単元テスト/「グローバル化」を考察する小論文</p> <p><b>Standard・スタンダード</b></p> <p><b>【知識・理解】</b> 単元テスト：問題への正答率</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> レポート：正確な根拠（エビデンス）にもとづく論理的な文章</p>	<p><b>Connection between the summative assessment and the statement of inquiry</b></p> <p>総括的評価と探究テーマとのつながり</p> <p>単元テストの総括的評価では【A知識と理解】を知識・技能の観点でテストを出題し、グローバル化の進展に関する歴史事象やグローバル化の影響など、探究テーマに関する理解や自らの考えを深める。</p> <p>「グローバル化」を考察する小論文では【D批判的思考】を思考・判断・表現の観点で実施する。グローバル化の進展に関する歴史事象と現代の諸課題に関連させ、人々の生活や社会の在り方にどのような影響を与えてきたかまとめ、それを踏まえ根拠にしたうえで「グローバル化」とは何か考察し、自分の考えを表現する。</p>

Approaches to learning (ATL)	ATL と「主体的に学習に取り組む態度」の評価とのつながり
<b>批判的思考スキル</b> …複雑な概念やプロジェクトの構成要素を分析し、新しい概念理解を構築するためにそれらを統合する。	様々な情報を貼班的に捉え、「グローバル化」とは何か、それに関わる現代の諸課題は何があるのか考え、自分ごととして意識しようとしているか。
<b>メディアリテラシースキル</b> …さまざまな資料やメディア（デジタルソーシャルメディアやオンラインネットワークを含む）から情報を見つけ、整理し、分析し、評価し、統合し、そして倫理的に用いる。 …多角的で多様なソースからさまざまなものの見方を求める。	・自ら、教科書・資料集・書籍・インターネットなどの、さまざまな情報から適切に情報を収集し、適切な資料のもと考察することができるか。 ・多面的・多角的な視点で考察しようとしているか。
<b>情報リテラシースキル</b> …さまざまな情報を関連付ける。	自ら、様々な情報を関連付け、20世紀後半の歴史を理解しようとしているか。

**ACTION: Teaching and learning through inquiry**

Content Term または、小単元	Learning process		
	Learning experiences and teaching strategies・学習活動と指導のアプローチ	Formative assessment・形成的評価	Differentiation・個別最適化
<b>Term 1</b> オリエンテーション 「グローバル化」とは何か	<b>MQ:</b> 「グローバル化」とは何か  <b>活動:</b> 現段階の「グローバル化」に対する考えをまとめ、Unit に対する自らの問いを考える。 ①ユニットの説明を聞く ②身の回りの「グローバル化」を思考	身の回りにある「グローバル化」を想起し、既存の知識での「グローバル化」とは何かについてアウトプットする。	
<b>Term 2</b> 冷戦とウクライナ情勢①	<b>MQ:</b> 冷戦と現代のウクライナ情勢はどのように関連しているのか	プーチンの発言や「鉄のカーテン演説」、冷戦の構図などの資料から冷戦の特徴を読み取り自分の言葉で表現し、他者に説明する。	<b>【知識・技能】</b> 目標未達成生徒：資料の読み取りが難しい場合は、周りとは共有させ、他者の意見を聞いたうえで取り組みをさせる。

	<p>活動：諸資料から、冷戦の目的・背景・影響を読み取り、理解する。</p> <p>①プーチンの演説の読み取り</p> <p>②冷戦期の二極化の理解</p>		
<p><b>Term3</b> 冷戦とウクライナ情勢②</p>	<p><b>MQ</b>：冷戦と現代のウクライナ情勢はどのように関連しているのか</p> <p>活動：現代のウクライナ情勢を調査し、冷戦と比較して、それぞれの事象について考察する。</p> <p>①冷戦の影響を調査</p> <p>②冷戦と現代のウクライナ情勢を比較</p>	<p>冷戦と現代のウクライナ情勢について比較し、多面的・多角的な視点から考察する。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> 目標未達成生徒：冷戦と現代のウクライナ情勢の比較が難しい場合は、観点をヒントとして与え、思考の糸口にする。</p>
<p><b>Term4</b> 冷戦と核問題</p>	<p><b>MQ</b>：冷戦期の核問題と現代の核問題の持つ意味は違うのか</p> <p>活動：冷戦期の核問題が持つ意味と現代の核問題が持つ意味を比較し、核問題について考察する。</p> <p>①冷戦期の核開発・縮小の動きを理解</p> <p>②冷戦期と現代の核問題の比較・考察</p>	<p>冷戦期の核問題と現代の核問題について比較し、多面的・多角的な視点から考察する。</p>	<p><b>【思考・判断・表現】</b> 目標未達成生徒：冷戦期の核問題と現代の核問題の比較が難しい場合は、観点をヒントとして与え、思考の糸口にする。</p>
<p><b>Term5</b> 冷戦とアジア・アフリカ地域</p>	<p><b>MQ</b>：冷戦中、アジア・アフリカ地域は何を思ったのだろうか</p> <p>活動：冷戦前中後におけるアジア・アフリカ地域の様子を理解し、現代のアジア・アフリカ地域の課題について考察する。</p> <p>①アジア・アフリカの歴史の理解</p>	<p>アジア・アフリカ地域の歴史を、適切な資料を用いて調査し、簡潔に紙芝居にしてまとめて表現する。</p>	<p><b>【知識・技能】</b> 目標未達成生徒：アジア・アフリカ地域の歴史調査が難しい場合は、おすすめの Web サイトを教え、そこから情報を収集させる。</p>

	②冷戦期と現代のアジア・アフリカ地域の課題の比較・考察		
Term6 冷戦と地域紛争	<p>MQ：地域紛争にはどのような未来が待っているのか</p> <p>活動：様々な地域紛争を調査し、それらの地域は今後、どうなっていくのか主張を考える。</p> <p>①地域紛争について観点ごとに調査 ②紙芝居プレゼンテーション</p>	地域の紛争について議論し、捉える視点によって、歴史の解釈が変化すること気づく。	【思考・判断・表現】 目標未達成生徒：議論に参加できない様子だった場合、様々な問いを投げかけ、参加する機会を与える。
Term7 冷戦と社会の変容	<p>MQ：冷戦によって、社会や生活はどのように変化したのだろうか</p> <p>活動：民主化や経済の自由化など、冷戦によって影響を受けた人々の社会や生活の変化について考察する。</p> <p>①民主化・経済の自由化の様子を理解 ②冷戦期の民主化・経済の自由化と現代の様子の比較・考察</p>	それぞれが考察した、冷戦による人々の社会や生活の変化と現代の様子について共有し、互いに評価し議論する。	
Term8 総括的評価① 小論文	<p>MQ：「グローバル化」とは何か</p> <p>活動：これまでの授業で学んだことを整理し、「グローバル化」とは何かを考察し、表現する。</p> <p>①学習内容の整理 ②総括的評価</p>		【思考・判断・表現】 目標未達成生徒：Teams 課題のフィードバックコメントにて、小論文に対するフィードバックをする。

<p>Term9 総括的評価② 単元テスト・まとめ</p>	<p>MQ:「グローバル化」はどのように進展してきたのか</p> <p>活動:歴史総合を学ぶ中等教育学校4年生として、単元テストを解答し、20世紀後半の歴史やグローバル化の進展に関する知識・理解を示す。</p> <p>①総括的評価 ②「グローバル化」に関するまとめ ③ROKの問いを考察</p>		<p>【知識・技能】</p> <p>目標未達成生徒:スタディサプリでこのUnitに関する問題を配信する。確認テストで、より知識の定着を図る。</p>
<b>Resources</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書(東京書籍『詳解 歴史総合』)/資料集(とうほう『問いからはじまる歴史総合』)</li> <li>・帝国書院『タペストリー』</li> <li>・Web サイト(ex.在ウクライナ日本大使館・外務省ホームページ・国立公文書館デジタルアーカイブなど)</li> <li>・Google Map</li> </ul>			

**REFLECTION: Considering the planning, process and impact of the inquiry**

Prior to teaching the unit (指導前)	During teaching (指導中)	After teaching the unit (指導後)
<p>昨年度は、コンテンツを網羅することに意識が向いてしまい、探究テーマや毎授業の問いに対して深く思考する時間が取れず、浅い探究に終わってしまっていた。今年度は、「グローバル化」という概念理解を全体の目標とし、歴史事象や現代の諸課題がどのように「グローバル化」につながるのか、多面的・多角的な視点で考察する Unit を作成した。</p>	<p>「グローバル化」という概念のもと学習することで、因果関係が見えづらい歴史事象も関連付けることができるようになってきた。また、「グローバル化」が抽象だからこそ、具体にするために多様な観点を意識できるようになってきた。一方、知識の習得は各々の調査に任せているため、知識の偏りが見られ、その結果、活発な議論につながらないことがある。</p>	